

# 要 望 書

北極域研究船の母港をむつ市とすることについて

青 森 県 む つ 市  
青 森 県 む つ 市 議 会

## 北極域研究船の母港をむつ市とすることについて

貴機構におかれましては、市政運営並びに議会運営に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げますとともに、毎年、むつ海洋・環境科学シンポジウムを開催されるなど、科学技術の理解促進と地域振興に御尽力を賜り、衷心より感謝を申し上げます。

また、1997年に原子力船「むつ」から生まれ変わった海洋地球研究船「みらい」がむつ市関根浜港を母港として活動し、国際的にも高い研究成果を挙げられていることは、地域住民の大きな誇りとなっており、これまでの活動に敬意を表するものであります。

近年では、むつ市、沖縄県名護市並びに神奈川県横須賀市との小学校との交流事業及び貴機構と青森県立むつ工業高等学校との共同研究を実施いただくなど、地域の子供達に海洋研究に携わる機会を提供いただいております、重ねて感謝を申し上げます。

さて、当市では、貴機構むつ研究所をはじめ、海洋研究等に関する幅広い分野での研究拠点の集積が図られており、最上位計画となる「むつ市総合経営計画」においても、海洋科学研究拠点に係る研究活動環境の充実として主要施策に位置づけております。

さらに、むつ市議会では、全国市議会議長会において令和4年度に設置された「海洋プラスチックをはじめとするプラスチックごみ問題に関する特別委員会」へ委員として参加するとともに、世界の海洋を舞台にした貴機構の活動についても、最大限支援してまいりたいと考えております。

現在、建造中の北極域研究船につきましては、地球温暖化によって急速に環境変化が進む中、北極域でのデータ観測による新たな知見の創出が期待されており、その活動を支援する体制の充実が望まれているところであります。

つきましては、当市に所在するむつ研究所は、貴機構最北の施設として北極域研究の拠点として相応しい立地であることに加え、当市のこれまでの「みらい」母港としての実績及び海洋研究関連施設が整備されている地域性と、長年にわたり貴機構とともに歩んできた歴史から生まれた海洋研究に対する市民の理解と関心の高さ等を御賢察いただき、当市を母港として研究活動を展開していただきますよう要望いたします。

令和6年1月24日

むつ市長 山本知也

むつ市議会議長 富岡幸夫